

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【公開番号】特開 2019-177205 (P2019-177205A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-042
 【出願番号】特願 2019-117723 (P2019-117723)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4
 A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

抽選手段による抽選結果に基づいて遊技を進行するとともに、
 扉枠に取り付けられるガラス板部と、発光体の実装される装飾基板を有する複数の装飾
 部と、を備える遊技機であって、
 発光体を発光させる発光手段は、演出制御部から発光体を駆動する発光体駆動回路に対
 して、発光体駆動データを送信し、
 前記装飾基板のうち特定装飾基板の実装面は、前記ガラス板部のガラス面に対し略垂直
 に配置され、
 前記特定装飾基板の発光体の実装される実装面は、白色塗膜が略全面に形成されると共
 に、該白色塗膜の上に黄色で形成されて発光体を特定可能な表記部を有する、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

従来、発光手段が実装される装飾基板が取り付けられた遊技機が提案されている（例え
 ば、特許文献 1）。このような発光手段による発光演出を用いたバリエーションのある演
 出を遊技者に提供している。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 6 - 1 5 4 6 7 6 号公報（段落 [0 0 1 9]、図 5）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、近年では、発光演出にて遊技興趣の低下を抑制する新たな実施態様が望まれている実情にある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技興趣の低下を抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記の目的を達成するために、本発明は、
抽選手段による抽選結果に基づいて遊技を進行するとともに、
扉枠に取り付けられるガラス板部と、発光体の実装される装飾基板を有する複数の装飾部と、を備える遊技機であって、
発光体を発光させる発光手段は、演出制御部から発光体を駆動する発光体駆動回路に対して、発光体駆動データを送信し、
前記装飾基板のうち特定装飾基板の実装面は、前記ガラス板部のガラス面に対し略垂直に配置され、
前記特定装飾基板の発光体の実装される実装面は、白色塗膜が略全面に形成されると共に、該白色塗膜の上に黄色で形成されて発光体を特定可能な表記部を有する、
ことを特徴とする遊技機。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

本発明の遊技機においては、遊技興趣の低下を抑制することができる。